

日十二月三

常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告費 第一版 一行五元 二行三元 三行二元 四行一元
 發行所 常磐每日新聞社 東京 本町三丁目
 印刷所 常磐每日新聞印刷株式会社 東京 本町三丁目

個人主義より人格主義へ（二）

—平町十三日會講演筆記—

帝國大教授 深作安文博士

然らば人格主義の人格とは何か

1 心理學的解釋
 心に統一がついてゐる方人間の心をかりに知情意と區分すればその働が統一を保つそれが人格の姿である、即ち知は情の働をさまたげず、情は意の働を妨げない、それ等知情意が溶合つて混一状態となりて或るものに働くそれが人格である

2 倫理的解釋
 價値より見たる人間を人格といつてゐる、人の人たる特性を人格性といひその主体を人格又は人格者といつてゐる、その特質を如何に見るかによつて人格の意義も種々相違が生じて来る。

3 法律上より見たる人格
 これは權利義務の立場より人格を見てゐる、生命財產名譽自由これを人格といふこれ等の人格の見方は皆人格といふものを靜止せしめそれを眺めた人格であつた今日はそうした靜的のものでなく動きつゝある、而して新しく動きつゝある動的な人格を眺めねばならぬ、その躍動せる人格を種々な方

法にて眺める、それが個人の淨化である。
 化學に於てはアインタインスは相對性原理を唱へ時間と對して次の様な事を言つてゐる。
 時は始なき始より終りなき終りへと進み行く過程なり哲學に於てはベルグソンが生命哲學を唱ふ、即ち總ての生物は大きな流の中に生命がひたり流れ盡く所を知らず、これ等は皆動きつゝある人格を眺めてゐる一つの傾向である。

父母の恩は山よりも高く海よりも深し、即ち文化人として己を生んだ人格は非常なる人格である、文化的自我を生んだ人格は實に尊いものである、人格の自我創作は機械製造ではない、人格の自我創作と機械の製造と區別するならば一層人格の自我創作が明瞭とならう

ノート

固いかび 餅を一晝夜水に浸けて微を洗ひ落し御飯蒸器に布を敷いて蒸すと搗きたての様に味もよ

1 機械製造
 機械の動力は外部より来る
 2 機械には心がない故に製造の道程は意識的にあらず
 3 製造した品物は同等なり
 4 機械は使用すればする程消耗する

1 動力は腹の底より湧上つて来る
 2 意識的である
 3 出来た思想は常に異なつてゐる
 4 人格は使へば使ふ程發展性を持つ
 以上で我々は機械にあらず人格である、といふ事を文

御待兼の世界的流行玩具の王様ヨロヨロが出來ました各特約店にて御求め下さい
 ◎安價 一個五錢 十錢 二十錢
 當工場製品にはヨロヨロの遊び方説明書進呈致す
 募集廣告 一、挽物製作徒弟 五名 木取手見習 一名
 右ハ本年尋常又ハ高等卒業ノ事身體建固ニシテ意志強固ナル者
 右希望者ハ自筆履歷書ニ學業成績表ヲ添ヘ至急御申込ラセテ

各種挽物 丸盆類 木製教育玩具製作 佐藤挽物製作所
 平町十五丁目三十番地 電話(ヤマ)又ハ(カ) 森下玩具店 金太郎玩具店 イワキ屋便利店 立花屋商店

おひな人形陳列會
 東京、埼玉各地一流人形師の作品を賑々しく陳列致しました。是非一度御覽下さい。

優秀品で値の安い
 フクダヤ際物部
 平新川町十九

産婦人科 木村病院
 電話 一六四番
 院長 木村寅次郎
 産婦人科 婦人科 内臓外科 整形外科 器泌尿科 醫學士 内 木 宗 八

明日の献立
 【朝】みそ汁：里芋 大根
 【晝】オムレツ：豚肉 じやが芋 玉ネギ 玉子
 【晚】煮びたし 蛤 せり
 化人たるものは忘れてはならぬ。

藤田女學校生徒募集
 一、本科 科(二ヶ年卒業)五十名
 二、裁縫專修科(二ヶ年卒業)百名
 三、師範 科(二ヶ年卒業)二十名
 四、專攻 科(一ヶ年卒業)二十名
 五、本科專修科(二年缺補編入)若干名
 六、選科 若干名
 三月卅日迄
 右希望者ハ願書提出ノコト詳細ハ本校宛學則請求セラルヘシ
 昭和八年三月 福島縣平町田町 文部大臣 認可 藤田女學校 電話三二八番

雛人形雛道具 特價賣出し
 久月特製たばこ人形や古代風人形類を陳列致しました。どうぞ御一覽下さい御待して居ります。
 平三丁目 金太郎玩具店

産婆生徒募集
 今、入學の好時期
 ……御希望の方は至急御申込みを……
 新學期は四月八日より
 平南町 平南町 産婆學校
 校長 清野清子 電話三〇七番

中村齒科醫院
 平町鍛冶町七

月曜是非

血染めの國旗

滿蒙の野に奮戦する我が將兵に愛國的の至誠を表示して血染めの國旗を贈る。斯かる壯烈な行爲がいたらない小學兒童の間に多く行はれ、幾分流行的の風潮をさへ帯びて來つた。近くは縣下某校の女教員が血書の地圖を作成したといふ。我が將兵の勞苦を想ふ時、統後に在る吾々國民がたゞ安閑たり得ない事は云ふ迄もないと同時に、勞苦に酬ゆる爲めには肉をそぎ骨を削るも猶ほ惜ししとしない愛國的の至情は何人にも變りがない。

殊に感受性の強い兒童等が、幼い胸に血を躍らして感奮其極に達し、己が身より流れ出る血汐に事寄せてその至誠を日の丸の國旗に表現せんとする迄の覺悟は壯々烈々實に頼もしい感がある。

然れ共、血染めの國旗の數を増す事に依つて吾人は喜びとすべきでない、夫れは血液が人間の体に實に重大な役割を持つて居る事を知ることが故である。

國家の非常時に遭遇して國民は益々健康でなければならぬ、是して健やかに育ち、健やかに働らかねばならぬ、此事が統後に在つて國を背負ふ者の責務であり引いては將兵の勞苦に酬え得る結果ともなる、此の味

に於て一滴の血と雖も決して無駄に出来ないのである。血染めの國旗、血書の地圖——その氣持ちは壯として共鳴出来るがその行爲は甚だ常軌を逸したものであるといはねばならぬ、殊に是れが流行性を孕むに於いては寒心に耐えざるものがある。

片倉製糸が表彰

特約組合と春繭の打合

平町片倉製糸會社では十九日午前十時より特約組合百八十五の組會長會議を開き春繭の打合を行つた後七年度の成績優良者並に優良組合の表彰式を行つた當日の受表彰者の如くである

(優良組合)内郷村高野組

合外十五組(功勞者)田人村系川貞義(多收獲實現者)高久村鈴木義雄(優良幹部)錦村星磯吉外十九名外(收獲者)双葉郡岩手村渡邊正外十六名(一枚賞多收獲者)夏井酒井久米吉外十四名

工事に次ぐ工事

土木監督所大繁忙

既報土木監督所では管内七年度匡救事業の竣功期日線上實現の爲め極力各町村に工事促進方を命じた結果管内五十餘に達する匡救事業の九分通りは今日迄に竣功を見其他も廿五日迄には一段落を告げるが同時に災害復舊工事の着手及び八年度匡救事業の設計等で所員は休む暇がないと

警中配屬

將校異動

警城中學校配屬將校步兵少佐八谷弘氏は此程歩兵二十九聯隊付となり中佐に進級退職する事になつたが後任は歩兵第四十四聯隊大隊長歩兵少佐大井川八郎氏で近日赴任さうと

川前校の

學用品購置

信用組合が指導、石城郡川前村信用組合では

平町の就學兒童

昨年より六十三名多い

平町各小學校の入學式は來る二十五日午前九時より舉行されるので此の式を前にして町内の書籍文具店は目下學用品を求め新入生で賑つて居るが本年度の新入學兒童は總計七百二十名にて昨年の六百五十七名に比して六十三名の増加である各校の就學兒童は左の如くである

第一 二百八十名 第二 二百六十名 第三 男九十三名 女八十七名

警中上級進學 警城中學校卒業生長瀬直衛君は

共濟病院總會

平町

警城中學校卒業生長瀬直衛君は前時より平署會議室に總會を開會事業の経過報告並に病院の經營等に就て協議する筈

平職業紹介所報告

回人を求める方

△トラツク助手 二十才前後 高卒 月五圓位(江名町某)

△雜夫 三十才以下 月十圓位(江名町某)

△小商店員 十六才 高卒 仕着小遣(四倉町某)

△洋服工見習 十六才 高卒 仕着小遣(平町某)

回職を求める方

上田科醫院

平町

△女中 二十四才 高卒 給料面談(江名町某)

△菓子屋外交 二十六才 尋卒 給料面談(岩手縣某)

△雜婦 四十才 尋三修 給料面談(平町某)

△女店員 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)

△機械職工 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)

上田科醫院 平町 南町 電話一二九番

貴方の

御家庭に

お手不足は

御座いませんか

本會は就職難の折柄眞面目な婦人達が仕事を求める機關として組織された團體で御座います

本會は御申込に家政婦を派出します

料金は極めて低廉です

親切 丁寧

妊産婦の御家庭
御病人の御家庭
年寄やお子さんの付添
炊事や雑用
お留守居番

原家政婦會

平町紺屋町二(電話呼六五三)

會長 産婆 上原通子

採炭競技に

磐炭が優勝す

石城郡湯本町入山炭礦第五坑内で昨十九日午前十時より催された磐城古河入山の各礦より選出された採炭従業員の採炭作業競技會は審査の結果磐炭側廿四點で優勝旗を獲得した

愛兒殺しの

物狂ひせる母親

法は如何に裁くか?

既報貧故に長男克己(七)及び長女千代(三)の愛兒二名を内郷村白水川に投げ込み溺死せしめ親子心中を企てた平町六丁目百一番地日雇業相馬賢次郎内縁の妻佐藤ステ(三)は精神に異常を來たした爲め過般來精神

農民の血涙史(一)

鮫川堰を踏査し 往時を想起

春なほ寒き昨日、在平日刊記者一行は二臺の自動車に分乘し、今や工費卅六萬九百六十六圓の巨額を投じて復活事業の緒に着いた鮫川疏水の江堰を實地踏査の爲め荒木技師、猪狩會計の案内に依つて上遠野村に向つた復活事業開始に絶大な功

百名中の

二名は……

平商の新教諭

平商業學校に於ける二名増員の教諭就任運動者は既報の如く百名以上ののぼり之れが採用に關し青沼町長と矢野校長は腐心中であつたが本日矢野校長は平發午前九時にて縣廳へ之れが打合せに出張した

平第二校の先生謝恩會

平第二校の高等科卒業生百十七名、尋常科卒業生百七十四名は卒業式の昨日である二十三日午前九時より先生の謝恩

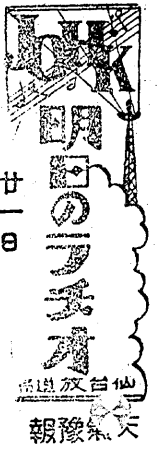
擔いた鐵管に……

命を取られた運搬夫 轉倒した機みに重傷

石城郡好間村大字上好間字馬場前飛田清五郎方同居人古河炭礦雜夫安齊春義(三)は去る十日二十餘貫の鐵管を擔いて運搬中誤つて轉倒し鐵管で顔面を狭まれ直に海迄流れない、農民達が血相變へて動搖し始めたのを見かねて、縣が七萬圓を投じ組合も再び相當な負擔金を捻出して明治卅五年第二期工事は終つたが、取水堰

此の犠牲に依つて子孫永遠に美田が耕やされる期待に燃えて、上遠野村皿貝地内の鮫川南岸に取水口が設けられ前記各村を経て小名濱の海に至る長蛇の築堤が三年度の明治卅三年に完成したのである、然るに結果は全然豫期に反して農民の希望を裏切り

水は一滴も小名濱の



今晩は北西の風晴
明日は南西の風晴

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「草花を作るには」西島樂峰
後八、〇〇 長唄「綱筒」杵屋五三
後八、二〇 富本「田面雁露手枕」富本豊千代外
後八、四〇 ラヂオレヴェ「巴里紐育」寶塚少女歌

明日の部

前七、〇〇 佛教講座「六法禮經」壽山良海
前七、五〇 彼岸會法要
(第四日)眞宗大谷派 本願寺

劇月組生徒
後九、三〇 時報 全國ニユース 氣象通報 番組豫告

前九、三〇 子供の時間
お話「うた」神様と「僕」堀江秀雄「神社参拜唱歌」女子放送合唱團
前一一、〇〇 彼岸法話
前一一、四〇 講演「閻魔大王の話」京教大教授醫學博士 石川日出鶴丸
後一、一〇 航空犠牲者追悼上野公園婦人子供博覽會演藝場より中繼
後一、三〇 彼岸會狀況
天王寺境内より中繼
後二、〇〇 御詠歌和讃
高野山より中繼
後二、三〇 放送舞臺劇

「宿無團七時雨傘」實川延若外
後六、〇〇 子供の時間
少年講談「護國の鐘」鶴見欣次郎
後六、二五 講演「三陸津浪と永産業」東北帝國大學助教理學博士 林喬
後七、三〇 漫談「浮世哲學」新場九如
後八、〇〇 新内
後八、三〇 浪花節「北海奇談稻妻お玉」木村重友
後九、〇〇 掛合噺「神主とおかめ」海老一海老藏 外

種痘日割

廿三四と決定

既報平町役場では双葉郡浪江町の天然痘發生に依り定期種痘の繰上を計畫中であつたが愈々本月廿三、四の兩日擔當各醫院に於いて行ふ事となつた各區日割左記の如くである

- △廿三日(酒井醫院)一丁目、二丁目、材木町、鍛冶町、南町(市原醫院)田町、胡摩澤、北目、搔繩小路、舊城跡(清水醫院)北白銀、仲間町、南白銀鐵道官舎△廿四日(平醫院)五丁目、鎌田、立町大工町(矢吹醫院)長橋研古、紺屋町、久保町、八幡小路(根本醫院)三丁目、四丁目、新川町、月見町、堤ノ内

朝食中に

商品盗まる

石城郡小名濱町古港地内雜貨商藤井増藏方で去る十八日午前七時半頃一家の者が朝食中店頭有つたコム靴兩合羽等六点を何者かに窃取されたので平署に届出た

列車に

突飛され 重傷死亡

平町舊城跡居住平驛手平井弘(一)は去る十八日午後八時五十六分着上り列車がホームに到着せんとした際誤つて列車に觸れて突飛ばされ左後頭部前額等を強打し瀕死の重傷を負ひ高久病院にて應急の手當を受けたが今朝三時絶命した

兒童選手

平第一小 珠算競技 學校にては本日午前十時より尋常科第五學年以上五名宛の選手に依つて珠算競技を行つた

商友會が母校へ、平商業學校商友會にては本日母校に對し麻裏草履二百足を寄附した

卒業生送別會 平第一小學校にては本日午後一時より本年度卒業生送別會を催した

江名唧筒購入

石城郡江名消防組では去る十八日幹部會を開き一般より五百圓の寄附を集むる外四千五百圓を町の支出に依つて自動車唧筒を購入する事に決した

好間壯丁虎眼

石城郡好間村では本年度適齡者六十九名に對し去る十八日午後一時より役場内に於いてトホホーム検査を行つた處患者十名あつた由

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫
佐々木 見山

第二百九十五席

御乘馬の曲藝

本所元町回向院無縁寺、

これに嗟嘆の釋尊の御開帳
であります、大層參詣人が
出て境内は雜踏いたして居
る、この人々を目的に見世
物が出て居ります、この中
で最も人氣のあるのは大曲
馬これは美人が馬に乗つて
種々なる曲藝を見せる、繪
看板には美しい女二人が馬
にて逆立ちをしてゐる圖そ
の外綱渡り、入口の一段高
い所には大入と書いた箆を
控へ新しい印半纏を着て威
勢のいゝ若い男が左右に分
れて五六人列んでゐる、木
戸を入ると此處にもぎりと
云つて木戸札を受取る者が
ゐる、この札の數によつて
何人入つたといふ事がわか
る、但し札には大小があつ
て大札は大人、小札は小供
木戸にゐる若い者が

○『評判々々』これ
が評判の曲馬だよ今が綱渡
り／＼評判々々

と呼ぶ、太鼓三味線の音
がかくましく聞える、この
小屋に來たは有馬侯の家來
松崎采女に渡邊金彌、先に
立つたはこの曲馬小屋の小
使ひ久太といふ者
久『さあ旦那お入な』

まじ、木戸錢は百文でござ
んす
二人は二百文の錢を出し
札を持つて中に入る
△『札はこちらへお貰ひ申
しますお二人さん御案内』
と聲をかける、婆さんが



出て來て
婆『こちらへいらつしやい
まし』

松『大層入るな』
婆『大人でございます、棧
敷へ上つて御覽なさいまし
お一人さん百文づゝお出し
なさるとお樂にして見る事
が出来ます』

松『それでは棧敷へ案内し
てくれ』
丸太をくみ板を列べた急拵
への棧敷、後には箆が下つ
て居る、二人はこれへ上つ
て見おろすと藝をする處は
圓形の馬場になつてゐて今
小さんといふ女が振袖を着
て繪を描いた日傘を持ち扇
を披いて綱を渡る、これは
餘興です、西の方から東へ
かけて一條の綱が張つてあ
る、香にまよふの端唄につ
れて此の綱の上で踊る、妙
なもので傘を持つてゐない
とこの綱を渡るは困難、足

の指のさきへ綱を挟み、傘
にて宙心を取つて落ちぬや
うにする扇を持たず、傘を
持たぬと之を渡るのはむづ
かしいさうです、何しろ美
人ですから見物は手を拍い
てワァーッと離し立てる之
れが一曲終ると今度は二人

打揃つて馬に乗つて馬場を
駆ける、馬を自由自在に使
ふ鞭で前脚を軽く打つと馬
は脚を折つて坐ります今度
は尾筒を打つとスーッと立
つて驅けるよこれまでな
らしたものだ見物は感心
してゐる、それを棧敷で見
て居た松崎采女に渡邊金彌
が

松『あの馬は飛鳥山であの
二人に束つて行かれた松風
に小櫻、不埒な奴があるも
のだ、殿様の御乘馬を曲藝
に用ゐるとは、不届至極』
金『イヤ、不埒な奴には相
違ないが我々にも罪がある
無理に酒を勧めそれを飲み
干たならばなんなりとも褒
美に遣ると云つた爲に馬を
持つて行かれた、此上は二
人に對して談判して乗馬を
取戻さねばならぬ、しかし
演藝中に會ふことはなるま
い、これの濟むまで待ち受
るであらう』

と曲馬を見てゐた小きん
と小兼は今度は櫓に上る七
十三段の階段を馬にて上り
ます、太鼓笛鼓三味線とこ
の合奏で漸たてる馬は二人
を乗せて徐にこの階段を上
る、上りきると紅白の幕が
張つてこの内にゐると口上
云ひが吉野山落花のかたち
とかう云つたが、櫻の花を
模した紙片を此上からバラ
／＼散らす、やがて又馬に
乗つたまゝこの階段を下る
乗上げるより降りる方がむ
づかしい、見物はこれを見
て

○『女の眞垣平九郎だな、
恐れ入つたものだ、これは

習はなければ出來ぬ藝だ、
三日や四日稽古したとてこ
んな事は出來ぬえ』
と感心してゐた、これが
終ると今までの客を皆追出
してしまふ、先さまはお代
り云つて太鼓を叩く客を
出して置いてすぐに掃除を
して又客を入れる、此時に
渡邊金彌と松崎采女はサ敷
を下り小使の久太を呼んで
小きんと小兼の休息に行く

梅毒

淋病
皮膚病
婦人病
胃性病

村松
町南平

淋病

腸虫病
十二指

院醫科
〇七一話電

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南七
電一〇七

耳鼻咽喉科専門

平町南七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

園兒募集

- 一、募集兒 六拾名
 - 二、規則書 希望者は當園に申入れ
たし
 - 一、入園期 四月五日
- 平町材木町

平信榮幼稚園

開業一週年記念!!!

として今般三三年型

新車購入致しなした

近日到着致しますから何卒舊に倍し
御愛顧の程御願ひ致します。

高級貸切

不二タクシー

電・32

新通學生

ランドセル
總皮
七十五錢
學修院型
一圓二十錢
四圓

用品

生學
カ
ン
ト
水防

豊富陳列

弊店が責任を持
つておすす、めす
一粒選りの
格安、取揃

ヤルツ

〇四一電